

富士通製 基幹サーバ「PRIMEQUEST」と ATEN KVM ドロワー CL1308N/CL1316N の接続検証結果報告書

ATEN ジャパン 営業技術課

1. 検証目的

PRIMEQUEST 3800E2 と ATEN KVM ドロワーシリーズとの組合せによる動作検証を実施致しました。

2. 検証期間

2022 年 7 月 21 日および 2022 年 7 月 26 日



3. 検証装置

型番	製品概要
CL1308N *検証実機	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 19 インチ LCD 一体型 8 ポート KVM ドロワー ➤ 2 段階カスケード接続対応 - 対応 KVM スイッチを最大 8 台 追加増設すれば、最大 128 台 のコンピューターを接続可能 ➤ デュアルインターフェース - コンピューターは、PS/2、USB の両インターフェースに対応
CL1316N *同一ボード製品	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 19 インチ LCD 一体型 16 ポート KVM ドロワー ➤ 2 段階カスケード接続対応 - 対応 KVM スイッチを最大 16 台 追加増設すれば、最大 256 台 のコンピューターを接続可能 ➤ デュアルインターフェース - コンピューターは、PS/2、USB の両インターフェースに対応

4. サーバ構成

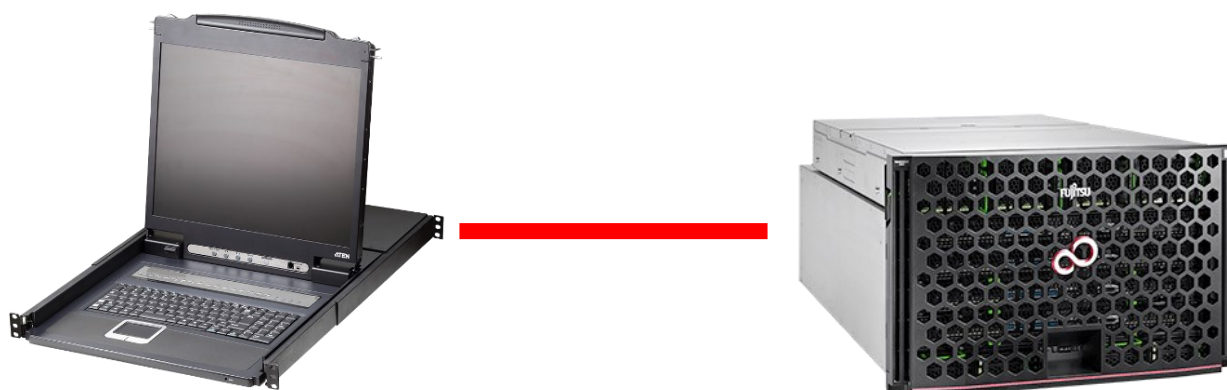
型番	OS Ver.
PRIMEQUEST 3800E2	Windows Server 2016 Standard Windows Server 2019 Standard RedHat Enterprise Linux v.7.9 RedHat Enterprise Linux v.8.3

5. 検証項目および結果

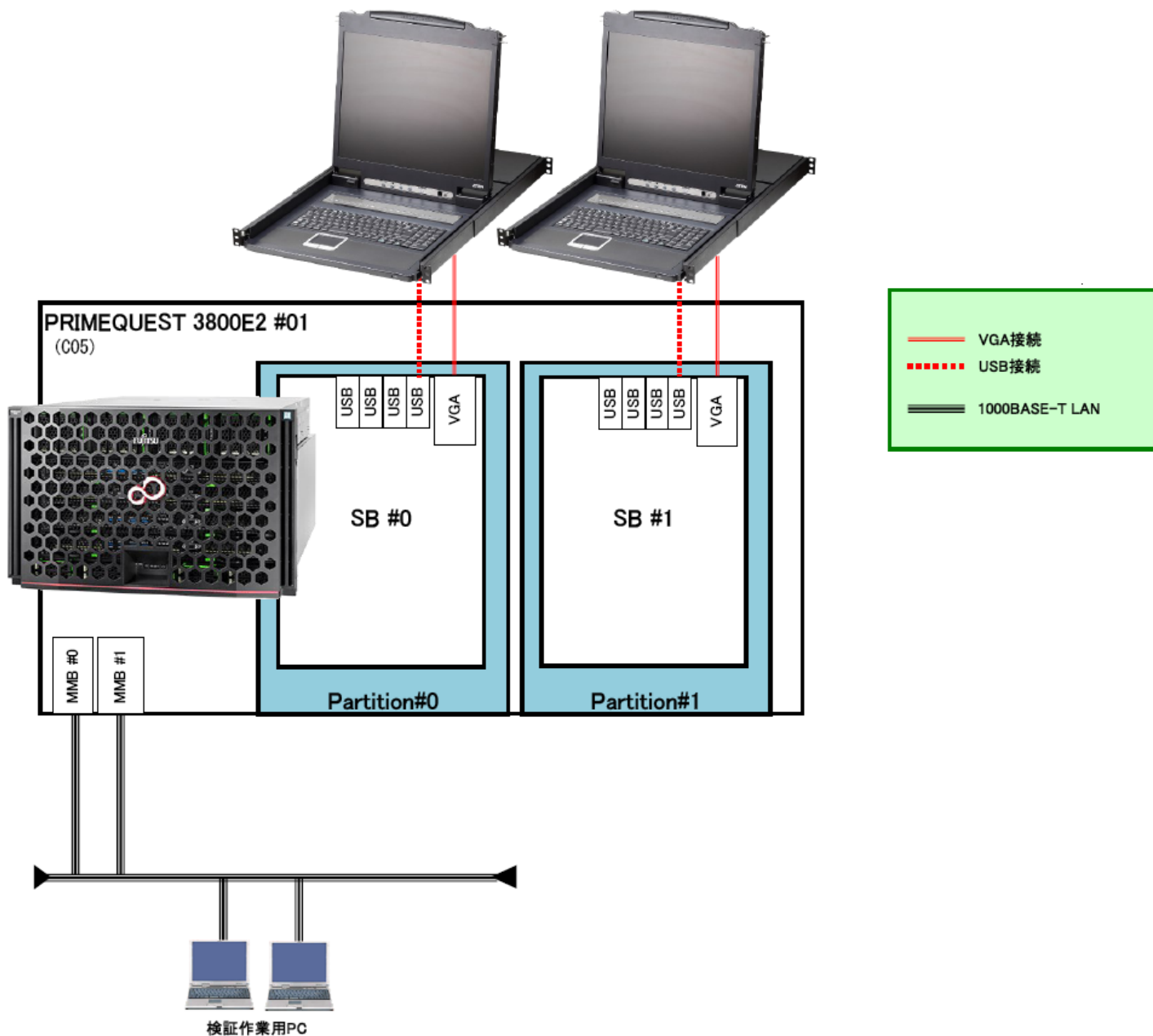
項目	概要	結果
A) ホットスタート、リブート、それぞれの動作確認	<ul style="list-style-type: none"> ・ホットスタート： サーバ側に接続されている全てのケーブル類は接続されたまま、シャットダウン後に電源 ON にする。 ・リブート： サーバ側に対して、リブート動作を実行する。 	各 OS Ver.にて正常動作を確認
B) ドロワー側日本語キーボードの動作確認	<ul style="list-style-type: none"> ・OS 側キーボード認識を確認する。 ・テキストエディタを起動し、各キーを押下し実際に入力される文字とキーマップが正しいことを確認する。 *ドロワー側が送信するキーコードが正しいことは確認済み 	各 OS Ver.にて正常動作を確認
C) ドロワー側タッチパットの動作確認	<ul style="list-style-type: none"> ・OS 側マウス認識を確認する。 ・四隅と中央部分へのポインター動きと左クリック右クリックの各動作を確認する。 	各 OS Ver.にて正常動作を確認
D) LCD 画面の表示	<ul style="list-style-type: none"> ・OS 側ディスプレイ認識を確認する。 ・OS 側と KVM ドロワの双方が共通しサポートする各解像度の表示を確認する。 	各 OS Ver.にて正常動作を確認
E) KVM 切替え動作確認	<ul style="list-style-type: none"> ・1 台のサーバと 1 台の PC を接続し、切替え動作を確認する。 ・切替え後の画面表示とキーボード/マウスの入力を確認する。 	各 OS Ver.にて正常動作を確認

6. 接続方法

ドロワーとサーバ間は専用 KVM ケーブル(2L-5202U)を使用



シャットダウン後の起動時のみ MMB を利用し、
ネットワーク経由の他 PC より電源 ON 操作



本検証内容に対する問い合わせ先：

ATEN ジャパン株式会社

東日本営業部 営業技術課 Tel:03-3255-5810 Mail:ajpresales@atenjapan.jp

西日本営業部 営業技術課 Tel:06-6229-5810 Mail:ajpresales@atenjapan.jp

※補足資料

